

## 第81回技術倫理協議会 議事録

1. 日時：2019年5月13日（月）13:30～15:30

2. 場所：乃木坂ビル A会議室

3. 出席者（役職順／所属順、敬称略）

議長：桑江 良明

副議長：札野 順、松久 寛

幹事：吉沢 清晴、本間 弘一、田中 克

委員：石橋 邦夫、三木 哲也、吉開 範章、中野 智仁、石川 孝重、

鎌田 潤一、土井 美和子、

アドバイザー：長島 昭、池田 駿介

オブザーバー：

事務局：木暮 賢司

### 4. 議題

- ①前回議事録(案)について（審議）
- ②2019年度日本工学会技術倫理協議会構成（平成31年度体制）（報告）
- ③第15回公開シンポジウムについて（審議）
- ④会員活動報告について（報告）
- ⑤技術協議会規程の改正について（懇談）
- ⑥協議会会員の増強について（懇談）
- ⑦次回第82回以降協議会日程について（審議）
- ⑧その他

### 4. 議事

- ①前回議事録案にて、議事内容の確認、審議を行い、原案は承認された。
- ②2019年度日本工学会技術倫理協議会構成の委員変更が報告された。
- ③第15回公開シンポジウムの講師推薦について  
講演構成として「過去の倫理の振り返りと新しい技術と倫理」の視点から講師候補を検討し、次回までに講師の内諾を得ることとした。  
また、シンポジウムの主テーマ並びに主旨文については、札野副議長に依頼することとした。
- ④定例の各学協会の活動概要が、各学協会委員から報告された。
- ⑤技術協議会規程の改正について懇談した。
- ⑥協議会会員の増強について懇談した。
- ⑦次回第82回以降協議会日程について、以下を決定した。
  - ・次回、第82回協議会 2019年7月9日（火）15:00～17:00 乃木坂ビル A会議室

## 第 81 回技術倫理協議会（2019 年 5 月 13 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	5 月 8 日に理工学分科会を開催し、「技術と社会」単元および「事例集」について審議。さらに、これまで公開されている理工学関係の E-learning 教材について、改定を開始する。今年度の全国公正研究推進会議は 2 月 7 日に東大安田講堂で開催することを決定。
2	電気学会	<p>(1) 3/26 第 4 8 回倫理委員会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2018 年度活動報告と 2019 年度活動計画他を審議。</li> <li>・ 定例講演会；「銚子沖洋上風力発電所実証研究の成果」 講師：福本 幸成 氏 (東京電力ホールディングス (株) 風力事業推進室)</li> </ul> <p>(2) 4/19 2019 年度第 1 回教育WG開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019 年度活動計画の審議。</li> <li>・ 3/8 実施の第 12 回技術者倫理フォーラム結果報告。</li> <li>・ 9/20 実施予定の第 12 回技術者倫理研修会の計画審議 テーマ：地球環境の科学と資源問題 ～地球環境の問題を理解して環境倫理を考える～ 講師：江守 正多 氏 (国立環境研究所) 山地 憲治 氏 (地球環境産業技術研究所)</li> </ul>
3	電子情報通信学会	<p>(1) 技術と社会・倫理(SITE)研究会が、インターネットアーキテクチャ(IA)研究会、インターネットと運用技術研究会(IPSJ-IOT)研究会と合同で、3月7・8日に、徳島県・ホテルグランドエクシブ鳴門にて、「インターネットと情報倫理教育」をテーマに開催され、1件の招待講演(坂口(IBLJ))：四国アイランドリーグ PLUS のデータ戦略から見えるスポーツデータの可能性)を含む52件の発表があった。</p> <p>(2) 技術と社会・倫理(SITE)研究会が、3月20日、総合大会(早稲田大学西早稲田キャンパス)に於いて、企画セッション；「科学技術者コミュニティと軍事研究：軍民両用技術と科学技術の価値」を実施。</p> <p>(注) 既に、<a href="http://www.jfes.or.jp/cee/index.html">http://www.jfes.or.jp/cee/index.html</a> で案内済み。</p> <p>会場は、満員(100名位?)となり、7名の講師と会場からの意見も次々に出て、面白いシンポジウムであった。</p> <p>(3) 電子情報通信学会倫理綱領に関する情報として、倫理事例集(β版)のWeb一般公開を準備中。意見集約中。</p>
4	土木学会	
5	日本化学会	
6	日本機械学会	特になし

7	日本技術士会	<p>2019年4月18日（木）に倫理委員会を開催した。</p> <p><b>【綱領小委員会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理事例集について、中堅技術者の自己学習での活用を想定していることから、技術者個人の行動について考えられるように、事例には個別技術者を登場させるという編纂方針が了承された。</li> <li>・技術士会 HP に掲載する最初の倫理事例として、組織ぐるみの不正の側面がある「化血研の不正」を取り上げることとした。第三者委員会調査報告書を参考に事例を創作する。</li> <li>・次期に設置を予定している「綱領改定検討WG」（仮称）の構成・進め方について検討した。</li> </ul> <p><b>【啓発小委員会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第11回シンポジウム（5/22）の開催準備について、具体的役割分担、事務局への依頼事項等を確認した。</li> <li>・シンポジウム開催の周知を目的に、テーマ（「企業活動と倫理」）に関連しそうなJST、中小機構、日本工学教育協会にリンクを依頼し了承された（リンク済み）。</li> </ul> <p><b>【情報小委員会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月刊「技術士」技術者倫理シリーズの掲載計画について報告があった。</li> <li>・全国大会（徳島）での倫理関連行事概要について検討を行った。</li> </ul> <p><b>【倫理教育検討WG】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WGの検討経緯・内容をまとめ月刊「技術士」に投稿した（5月号掲載済み）。</li> <li>・WGメンバーが実際に大学で実践している講義内容について日工教「学習・教育目標」各項目と対比させた「講義構成例」を会員HP上で共有するシステムを構築し、WGの活動成果とする。</li> </ul>
8	日本原子力学会	<p>3/14, 4/17に委員会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年から2018年にかけて、「災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理」として学会企画セッション、研究会で様々な議論をしてきた。この一連の議論を学会誌に投稿する計画（2019年5月以降）である。</li> <li>・2019年秋の大会の企画セッションのテーマとして「技術の現場と倫理の相互作用：新規技術の研究開発に着目して」と題して、今後の原子力の研究・開発のあり方について議論することを計画している。</li> <li>・研究者と技術者では原子力安全文化に対する認識に少なからず温度差があると考えられている。研究者（研究機関）の原子力安全文化に対する認識と技術者（電気事業者、メーカーなど）の原子力安全文化に対する認識の相違を議論している。</li> </ul>

		<p>その相違の原因は何か、相違を埋める必要があるかなど、原子力業界として、原子力安全文化に対してどのような考えを持つ必要があるかを議論している。</p> <p>3/22 に春の年会企画セッションを開催（茨城大学：水戸）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「起き続ける品質不正問題と倫理～原子力界として学ぶべき課題～」と題して、倫理規程のあるべき姿、求められるものを検討するとともに、次回の倫理規程改定に向けた議論を行った。</li> </ul>
9	日本建築学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月15日に倫理委員会が開催され、①倫理実践検討小委員会報告、②建築倫理教材開発WG報告、③2019年度日本建築学会大会（北陸）特別企画：金沢工業大学・科技術応用倫理研究所との共催事業の検討を行った。また、次期の委員会体制について検討した。</li> <li>・2月13日に倫理実践検討小委員会が開催され、①倫理実践に向けての取り組み、②個人倫理と組織倫理、③組織における実践倫理とディベートの効用、④「知的生産者の公共調達にかかわる法整備の動き」等について検討を行った。</li> <li>・1月29日に建築倫理教材開発WGが開催され、倫理教材（動画版）作成の検討を行った。</li> <li>・3月12日に建築倫理教材開発WGが倫理動画教材「先達にきく」作成のためのインタビューを行った。</li> </ul>
10	日本工学教育協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月23（火）24（水）第1回委員会：メルボルン大学ポジティブサイロロジーセンターのProf. Lindsay Oades, Dr. Gavin Slemp, Dr. Gavin Slemp 3名を招き、Well-beingの評価について講演頂いた（約30名参加）。現プロジェクトについて意見交換を行った。</li> <li>・第67回年次大会（9/4-6 東北大学のうち9/5（木）にてオーガナイズドセッション「幸せをつくる技術者教育ーポジティブ・エデュケーション」実施予定。</li> <li>・11/29（金）30（土）第20回ワークショップ「技術者倫理」開催予定@東工大大岡山（研究倫理を統合）。</li> <li>・倫理綱領改訂に合わせて教育（者）倫理について検討。</li> </ul>
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

(以上)